

児童発達支援 日中活動プログラム

対象者：主に重度心身障害児・医療ケア児対応

対象年齢：0歳から6歳

重度の障害を持つ子どもたちの成長と発達を支援するためのサービスです。日中活動プログラムは、子ども一人ひとりの特性やニーズに合わせた活動を提供し、心身の発達や社会性の向上を目指します。

弊社独自の取り組みとして、活動するための基礎となる心身機能のケアを大事にしています。看護師や理学療法士が常勤でいますので、活動の基礎となる心身機能を整えてから活動に参加していただいています。

日中活動プログラムの例

1. 感覚統合療法を取り入れた活動

- 活動例：
 - ボールプールやクッションを使った体感遊び。
 - 触覚や視覚を刺激するセンサールームでの活動（光るおもちゃや柔らかい素材を使用）。
- 目的：
 - 感覚刺激を調整し、心身の安定を促す。
 - 感覚過敏や鈍感を緩和し、環境への適応力を高める。

2. 身体機能の維持・向上を目指す運動

- 活動例：
 - 理学療法士の個別リハビリ。理学療法士の指導によるストレッチやリハビリ。
 - 移動練習や立位保持装置を使った体位変換。
 - 音楽に合わせた軽い運動や手足の動きの練習。
- 目的：
 - 筋力や柔軟性を維持・向上させ、身体機能をサポート。
 - 健康的な生活習慣を身につける。

3. コミュニケーション能力の育成

- 活動例：
 - 絵カードやタブレットを使った意思表示の練習。
 - スタッフや他の子どもたちと簡単なやり取りをするグループ活動。
 - 発語や表現の練習。
- 目的：
 - 自分の気持ちや要求を伝える力を育む。
 - 他者との関わり方を学び、社会性を養う。

4. 生活スキルのトレーニング

- 活動例：
 - 手洗いや歯磨きなどの基本的な身だしなみの練習。
 - 食事の際のスプーンやフォークの使用練習。
 - 着替えやトイレのサポートを通じた自立支援。
- 目的：
 - 日常生活に必要なスキルを少しずつ習得。
 - 自立心を育て、家庭での負担軽減を目指す。

5. 創作活動

- 活動例：
 - 季節に合わせた工作（例：クリスマス飾りや夏祭りのうちわ作り）。
 - 手形や足形を使ったアート制作。
 - スタッフがサポートしながら行う塗り絵やスタンプ遊び。
- 目的：
 - 達成感を味わい、自己肯定感を高める。
 - 手先の器用さや集中力を養う。

6. 音楽・リズム活動

- 活動例：
 - 音楽に合わせて手を叩いたり、楽器を鳴らしたりする。
 - 簡単なリズム遊びや歌に合わせた動きの練習。
- 目的：
 - 音やリズムを楽しみながら感覚統合を促す。
 - 集中力やリラックス効果を得る。

7. リラクゼーションタイム

- 活動例：
 - 静かな環境で絵本の読み聞かせやアロマを使ったリラックス。
 - マッサージやタッチケアで心身を落ち着かせる。
- 目的：
 - 子どもの緊張を和らげ、安心感を提供。
 - 情緒の安定を図る。

8. 外出や社会体験

- 活動例：
 - 散歩や公園での外遊び。
 - 地域のイベントや施設見学への参加。
- 目的：
 - 社会の中での経験を積み、外部環境への適応力を高める。
 - 四季を感じる体験を通じて感性を育む。

プログラム作成のポイント

総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、支援プログラム作成に当たっては、

5 領域 20 項目の評価表をもとにし作成します。

子どもたちが安心して過ごしながら成長できる環境を整え、家庭や地域社会とのつながりを強化することを目指します。

・

個別性の重視

- 子どもの障害特性や発達段階に応じて、個別支援計画を作成します。
- 一人ひとりのペースに合わせた活動を提供します。

・

安全性の確保

- 子どもの体調や特性に応じた環境設定（安全な器具の使用、スタッフの配置）。

・

専門スタッフの配置

- 理学療法士や看護師・保育士などの専門家が連携しています。
- 医療的ケアを行う看護師を配置しています。

・

家族との連携

- 家庭での状況や課題を共有し、一貫性のある支援を提供しています。
- 保護者向けの相談会や情報提供も実施します。

・

楽しさを重視

- 子どもが楽しく参加できるプログラムを設計しています。
- 達成感を得られる活動を取り入れます。